

社会資本総合整備計画 事後評価書

平成29年3月2日

計画の名称	1 逗子市における清潔で快適な生活環境の実現（防災・安全）									
計画の期間	平成23年度 ～ 平成27年度（5年間）			交付対象	逗子市					
計画の目標	下水道整備により、清潔で快適な生活環境の実現と河川・海などの水質保全に努める。防災・安全の視点から施設の老朽化対策、防災対策に取り組む。									
計画の成果目標（定量的指標）	①合流式下水道改善率を10%（H23）から100%（H25）に増加させる。 ②長寿命化策定率を処理場：0%（H23）から100%（H27）、ポンプ場：0%（H23）から100%（H27）、管渠：0%（H23）から10%（H27）に増加させる。 ③処理場・ポンプ場の地震対策実施率を0%（H23）から9%（H27）に増加させる。									
定量的指標の定義及び算定式				定量的指標の現況値及び目標値			備考			
				当初現況値 (H23当初)	中間目標値 (H25末)	最終目標値 (H27末)				
① 合流式下水道改善率 合流式下水道改善済み面積（ha）/合流区域面積（ha）				10%	100%	100%				
② 長寿命化策定率：処理場 長寿命化計画策定済みの処理場数（箇所）/長寿命化計画を策定すべき処理場数（箇所）				0%	100%	100%				
長寿命化策定率：ポンプ場 長寿命化計画策定済みのポンプ場数（箇所）/長寿命化計画を策定すべきポンプ場数（箇所）				0%	100%	100%				
長寿命化策定率：管渠 長寿命化計画策定済みの処理区域面積（ha）/処理区域面積（ha）				0%	10%	10%				
③ 処理場・ポンプ場の地震対策実施率 処理場・ポンプ場における、耐震化済み施設数（箇所）/緊急に耐震化すべき施設数（箇所）				0%	0%	9%				
全体事業費	合計 (A+B+C)	2,713百万円	A	2,713百万円	B	0百万円	C	0百万円	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C)	0.0%
事後評価										
○事後評価の実施体制、実施時期										
事後評価の実施体制					事後評価の実施時期					
逗子市下水道事業運営審議会の委員でもある、学識経験者に意見を求めた。					平成29年3月2日					
					公表の方法					
					市のホームページにて公表					

1. 交付対象事業の進捗状況

交付対象事業

A1 下水道事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	道路種別	省略工種	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	備考
											H23	H24	H25	H26	H27		
A-1	下水道	一般	逗子市	直接	-	合流	新設	新宿滞水池築造	1,100m3	逗子市						856	合流改善
A-2	下水道	一般	逗子市	直接	-	合流	新設	逗子第5分区雨水渠整備	L=1,516m	逗子市						345	合流改善
A-3	下水道	一般	逗子市	直接	-	全体	-	逗子市浄水管理センター・新宿中継ポンプ場・管渠	長寿命化計画策定	逗子市						156	長寿命化支援制度
A-4	下水道	一般	逗子市	直接	-	汚水	改築	小坪中継ポンプ場改築	機械設備一式、電気設備一式	逗子市						195	
A-5	下水道	一般	逗子市	直接	-	処理場	改築	逗子市浄水管理センター第1・2系列汚泥濃縮槽改築	詳細設計	逗子市						4	
A-6	下水道	一般	逗子市	直接	-	処理場	改築	逗子市浄水管理センター第1・2系列水処理棟耐震補強	詳細設計	逗子市						25	地震対策
A-7	下水道	一般	逗子市	直接	-	処理場	改築	逗子市浄水管理センター	管理棟耐震補強	逗子市						298	地震対策
A-8	下水道	一般	逗子市	直接	-	処理場	改築	逗子市浄水管理センター	No.3汚泥脱水機改築	逗子市						604	
A-9	下水道	一般	逗子市	直接	-	処理場	改築	逗子市浄水管理センター	第1・2系列汚泥濃縮槽改築	逗子市						-	
A-10	下水道	一般	逗子市	直接	-	処理場	改築	逗子市浄水管理センター	第1・2系列水処理棟耐震補強	逗子市						0	地震対策
A-12	下水道	一般	逗子市	直接	-	処理場	改築	逗子市浄水管理センター	第1・2系列細目自動除塵機改築	逗子市						100	
A-13	下水道	一般	逗子市	直接	-	処理場	改築	逗子市浄水管理センター	第2系列最初沈殿池掻寄機改築	逗子市						52	
A-14	下水道	一般	逗子市	直接	-	処理場	改築	逗子市浄水管理センター	第3系列最終沈殿池掻寄機改築	逗子市						26	長寿命化支援制度
A-15	下水道	一般	逗子市	直接	-	処理場	改築	逗子市浄水管理センター第3系列水処理設備改築	詳細設計	逗子市						6	長寿命化支援制度
A-16	下水道	一般	逗子市	直接	-	処理場	改築	逗子市浄水管理センター	第3系列水処理設備改築	逗子市						0	長寿命化支援制度
A-17	下水道	一般	逗子市	直接	-	処理場	改築	逗子市浄水管理センター流入渠・導水渠・放流渠・バイパス管	耐震診断・詳細設計	逗子市						14	地震対策
A-18	下水道	一般	逗子市	直接	-	処理場	改築	逗子市浄水管理センター第3系列水処理棟	耐震診断	逗子市						12	地震対策
A-19	下水道	一般	逗子市	直接	-	処理場	改築	逗子市浄水管理センターEXP.J耐震補強	詳細設計	逗子市						6	地震対策
A-20	下水道	一般	逗子市	直接	-	汚水	改築	新宿中継ポンプ場	耐震診断	逗子市						6	地震対策
A-21	下水道	一般	逗子市	直接	-	合流	-	合流式下水道モニタリング	採水機器設置及び水質分析	逗子市						8	合流改善評価
																2,713	

(A-9)第1・2系列汚泥濃縮槽改築を含む

B 関連社会資本整備事業																
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	備考
										H22	H23	H24	H25	H26		
合計																
番号															備考	
C 効果促進事業																
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	備考
										H22	H23	H24	H25	H26		
番号	一体的に実施することにより期待される効果														備考	

※交付対象事業については、できるだけ個別路線ごとに記載すること。

2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況

I 定量的指標に関連する
交付対象事業の効果の発現状況

- ・雨水渠や滞水池の整備を促進したことにより、生活環境の向上及び公共用水域の水質保全が図られた。
- ・処理場、ポンプ場について長寿命化計画を策定したことによって、計画的に改築更新ができる。管渠については、長寿命化計画策定に伴うスクリーニングができた。
- ・処理場、ポンプ場における耐震化を促進したことにより、施設の防災対策が図られた。

II 定量的指標の達成状況	指標①（合流式 下水道改善率）	最終目標値	100%	目標値と実績値 に差が出た要因	
		最終実績値	100%		
	指標②（長寿命 化計画策定率： 処理場）	最終目標値	100%	目標値と実績値 に差が出た要因	
		最終実績値	100%		
	指標②（長寿命 化計画策定率： ポンプ場）	最終目標値	100%	目標値と実績値 に差が出た要因	当初計画時には、本整備計画期間内（H23年度～H27年度）にポンプ場を含めた主要施設の長寿命化計画策（100%）を最終目標としていたが、本整備計画期間内の実施過程に再検討した結果、主要施設の中でも最重要施設である処理場施設の再構築を行うことが最優先であると方針づけたことから実施に至らなかったもの。
		最終実績値	0%		
	指標②（長寿命 化計画策定率： 管渠）	最終目標値	10%	目標値と実績値 に差が出た要因	管渠長寿命化計画策定に伴うスクリーニング（管口カメラ調査等）に時間を要したため。
		最終実績値	0%		
	指標③（処理 場・ポンプ場の 地震対策実施 率）	最終目標値	9%	目標値と実績値 に差が出た要因	
		最終実績値	9%		

III 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況
(必要に応じて記述)

「小坪中継ポンプ場」及び「逗子市浄水管理センター」については、詳細設計及び各種工事を実施したことにより、効率的な各老朽化施設の改築更新が達成できた。

3. 特記事項（今後の方針等）

- ・合流式下水道については、当面の改善目標の達成のための対応は終えたが、更に雨水渠を整備し完全分流化を目指す。
- ・処理場の長寿命化対策については、既計画に沿った事業完了後、新たな制度のもと下水道ストックマネジメント計画として策定し、計画的に改築・更新を進めていく。
- ・ポンプ場の長寿命化対策については、新たな制度のもと下水道ストックマネジメント計画として策定し、計画的に改築・更新を進めていく。
- ・管渠の長寿命化計画策定については、新たな制度のもと下水道ストックマネジメント計画として策定し、計画的に改築・更新を進めていく。
- ・処理場、ポンプ場の地震対策については、引続き既計画をもとに耐震化工事を実施し、次期計画に向けて検討を進めていく。